

JRE 酒田風力発電所更新計画環境影響評価方法書に対する
山形県知事意見

1 全般的事項

- (1) 事業計画の詳細は、今後検討することとしているが、国内において稼働実績のない、最大級の風力発電機に更新する計画であることから、住民の方が不安にならないように、既存の風車と比べて、影響が大きくなると想定される項目やその程度を示すこと。
また、事業計画について、住民の理解が得られるように、他の類似事例の引用などにより具体的に分かりやすく示すなど配慮すること。
これらも踏まえて作成する環境影響評価準備書について、関係自治体や地元住民等に対し、丁寧に周知、説明を行うこと。
- (2) 環境影響の予測にあたっては、できる限り定量的な手法を用いること。
- (3) 対象事業実施区域周辺の風力発電事業との累積的影響の評価を行うため、予測に必要な情報の項目を具体的に記載すること。

2 個別事項

(1) 底質について

酒田北港内の底質の既存の調査結果から、全リン、全窒素の濃度が高いと考えられることから、水路部の風車設置予定地の南側に調査地点を追加して、その状況を把握すること。

(2) 動物について

- ① 対象事業実施区域周辺の鳥類を把握するため、現在計画している調査に加え、長期間の調査が可能なレコーダー等により、鳥類の音声を記録して行う調査の併用を検討すること。
- ② 風車の稼働によるコウモリへの影響について、最新の知見を踏まえて衝突確率を推定し、影響を予測すること。

(3) 景観について

事業計画の検討にあたっては、風車の設置場所、高さ及び色の統一性など、眺望景観に配慮すること。

特に酒田市の主要な景観である「海、砂丘、クロマツ林、鳥海山」を一望できる、酒田北港付近からの眺望に配慮すること。